

# ユースが活躍できる 社会をつくるためには？

両角達平  
(日本福祉大学)

# 両角達平 (モロズミ タツヘイ)

## 所属

- ・ 日本福祉大学 社会福祉学部 講師
- ・ 国立青少年教育振興機構 青少年教育研究センター (客員研究員)
- ・ 静岡県立大学 国際関係学研究所 CEGLOS (客員研究員)

## 研究キーワード

若者の社会参画について、ヨーロッパ (特にスウェーデン) の若者政策、ユースワークの視点から研究。

## 経歴

- 長野県茅野市 → 静岡県立大学
- スウェーデン留学 → ドイツの国際NGO
- ストックホルム大学院
- 文教大学 (研究員) → 国立青少年教育振興機構
- 日本福祉大学 (名古屋)

きっかけは  
長野県茅野市の  
ユースセンターと  
大学のユースワーク  
の活動



# 日本の若者の社会参加についての意識

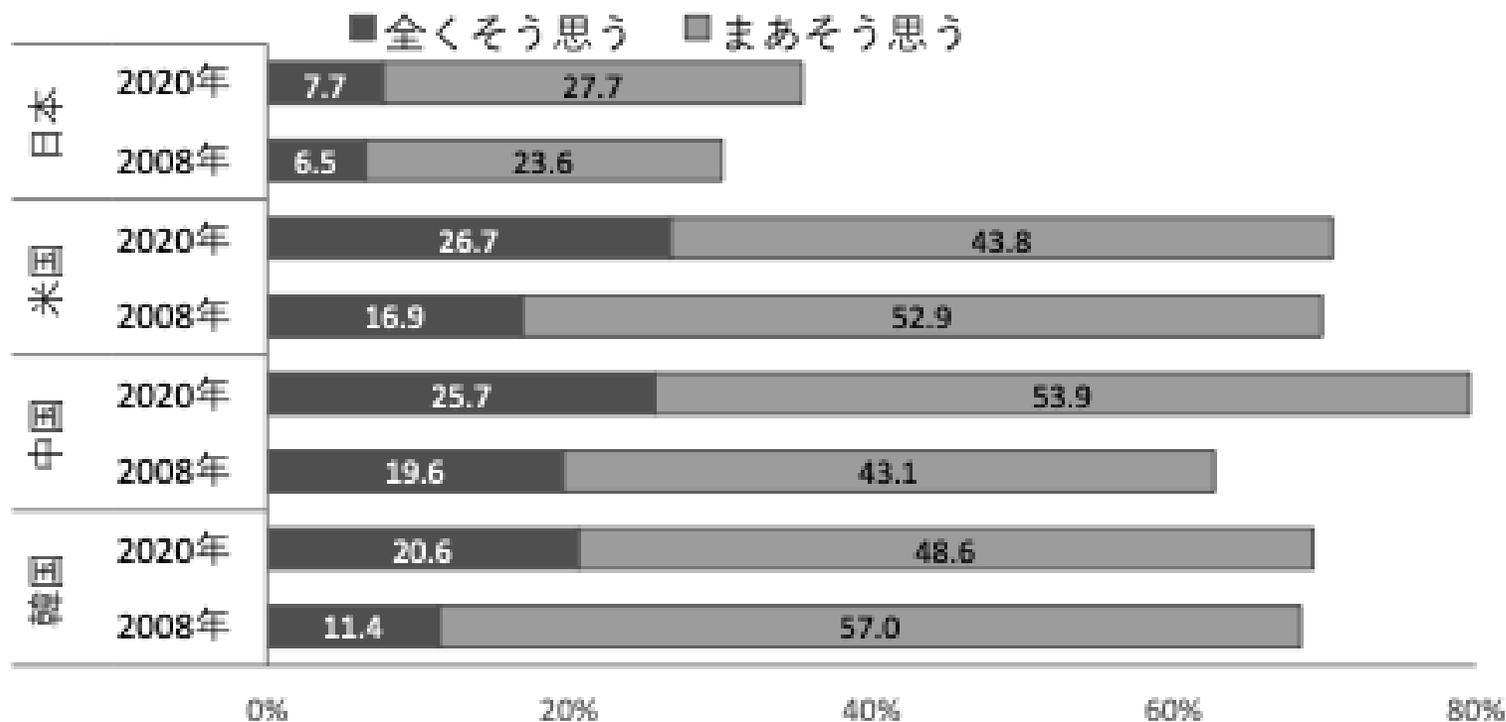
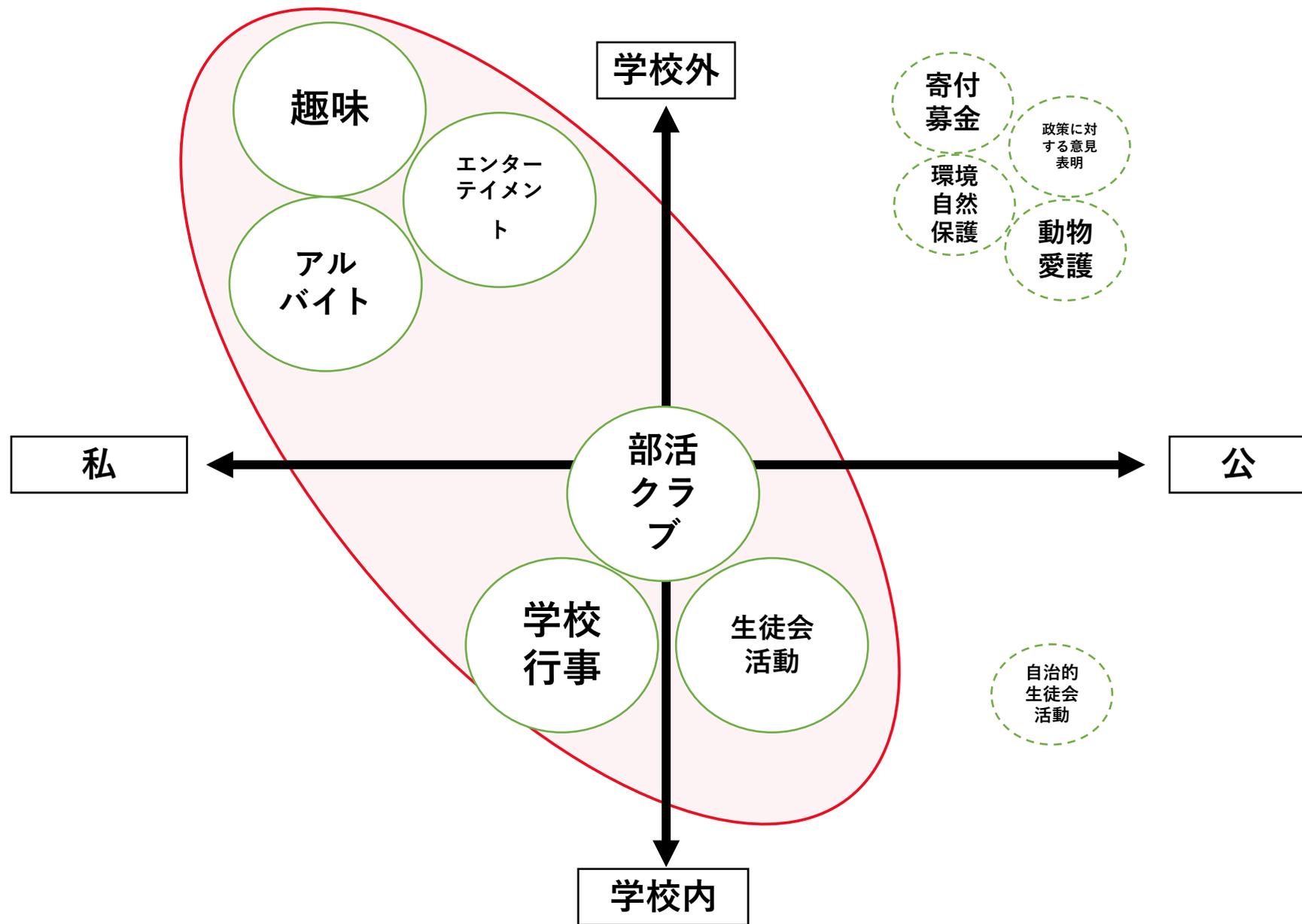


図 6-7 私の参加により、変えてほしい社会現象が少し変えられるかもしれない

\* 2008年:「中学生・高校生の生活と意識」(財団法人日本青少年研究所)、以下同様。

公的<私的な  
ことに関心の高い  
日本の若者



ユースが活躍する国  
スウェーデンとは？



# 北欧最大の国 スウェーデン

首都：ストックホルム(市人口約93万人)

通貨：スウェーデン・クローナ(SEK)

人口：約1000万(2017年)

公用語：スウェーデン語

政治：立憲君主制・一院制

主要産業：機械工業、化学工業、林業、IT



## スウェーデン

ヨーロッパの国

### SDGs達成度

国連持続可能な  
開発ソリューション・  
ネットワーク(SDSN)

1位  
2020年

日本  
17位

### 汚職 認知指数

トランスパレンシー・  
インターナショナル

3位  
2020年

日本  
19位

### 民主主義 指標

エコノミスト

3位  
2020年

日本  
21位

### ジェンダー・ ギャップ指数

世界経済フォーラム

4位  
2020年

日本  
121位

### もっとも ビジネスに 適した国

米国ビジネス誌Forbes

2位  
2018年

日本  
19位

### 世界若者 幸福度調査

国際若者基金

1位  
2017年

日本  
7位

『若者からはじまる民主主義』より



たっぺい (両角達平)  新刊『若者からはじまる民主主義』好評発売 ...

@tppay

視察1日目終了。democraticという言葉があちこちで自然と出てくる。なんなんだここは。

午前2:43 · 2010年5月4日 · Twitter Web Client

|| ツイートアクティビティを表示

1 件のいいね



社会問題に興味がある



政治に興味がある



世界の出来事に興味がある



政治的な話題について…



インターネット上で「いいね」をするなどしてある意見を「支持」したことがある



インターネット上のチャットやコメントなどで「議論」をしたことがある



図1-2 若者の関心と行動 (16~25歳)  
(出典: Ung idag 2016)

住んでいる地域において、自分自身に関連のある問題に影響を与えたいと思っている



地域の意思決定者に自分の意見を表明する機会があると感じている



図1-3 身近な社会に影響を与えたいと思う若者の割合  
(出典: Ung idag 2016)

# 社会参画の意識が高いスウェーデンのユース

『若者からはじまる民主主義』より

# スウェーデンの若者の投票率は85%

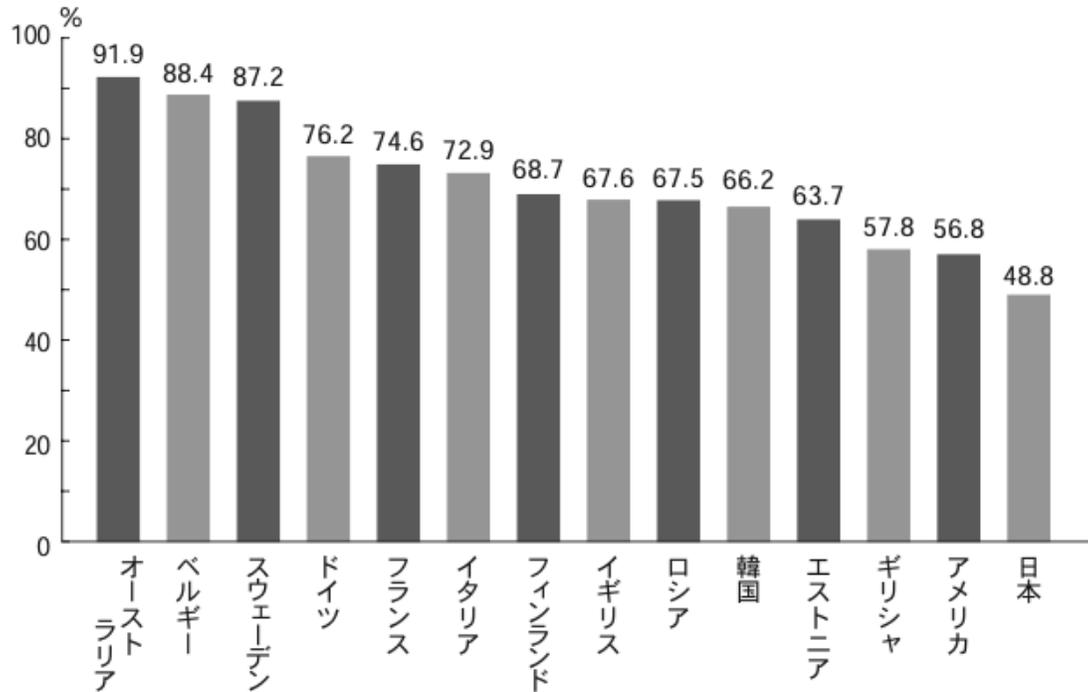


図1-8 世界各国の投票率（2014年以降）（出典：International IDEA）  
※注 フランスとロシア連邦では大統領選挙、それ以外は議会選挙

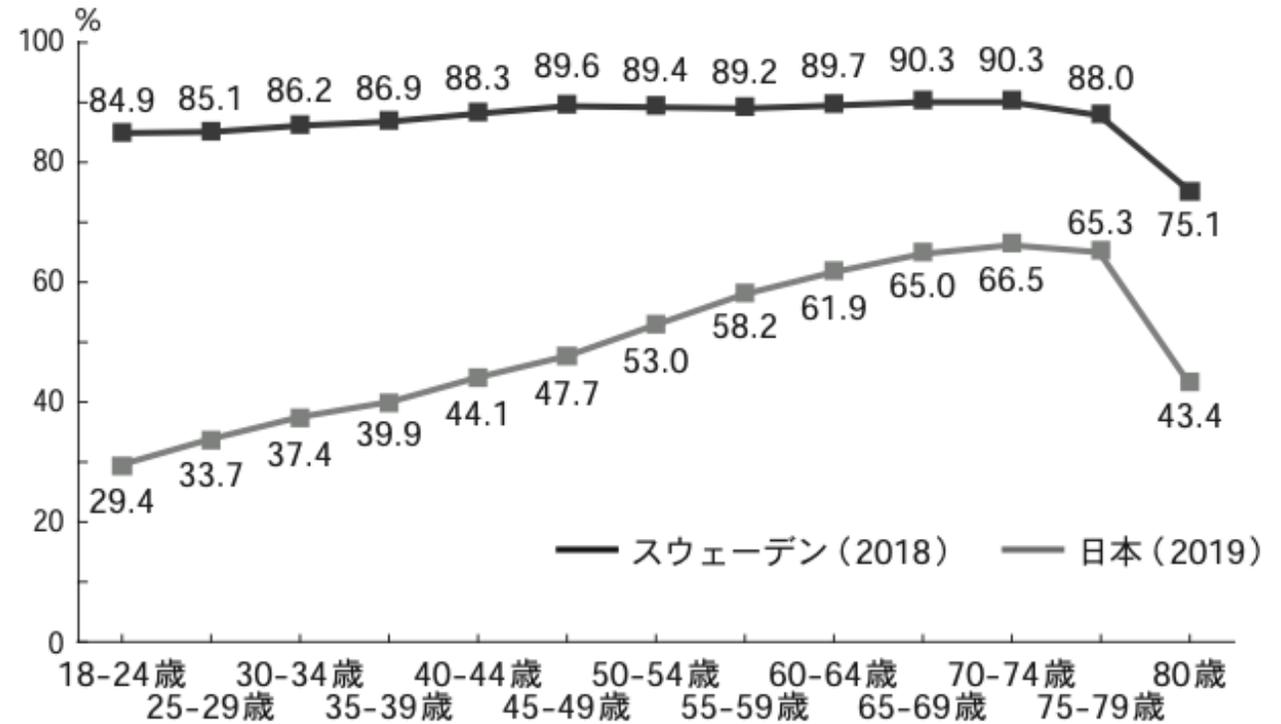
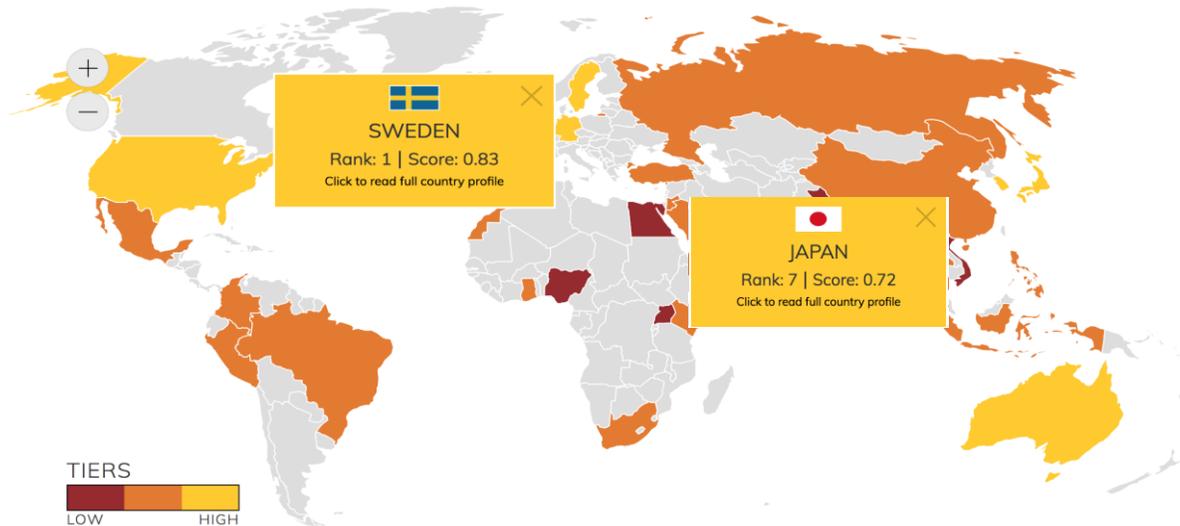


図1-7 年齢別投票率の比較（出典：スウェーデン中央統計局（SCB）および総務省）  
※注 日本の各世代別の投票率は、総務省のローデータの平均値から算出

# 世界で最も若者が幸せな国

The Global Youth Wellbeing Index

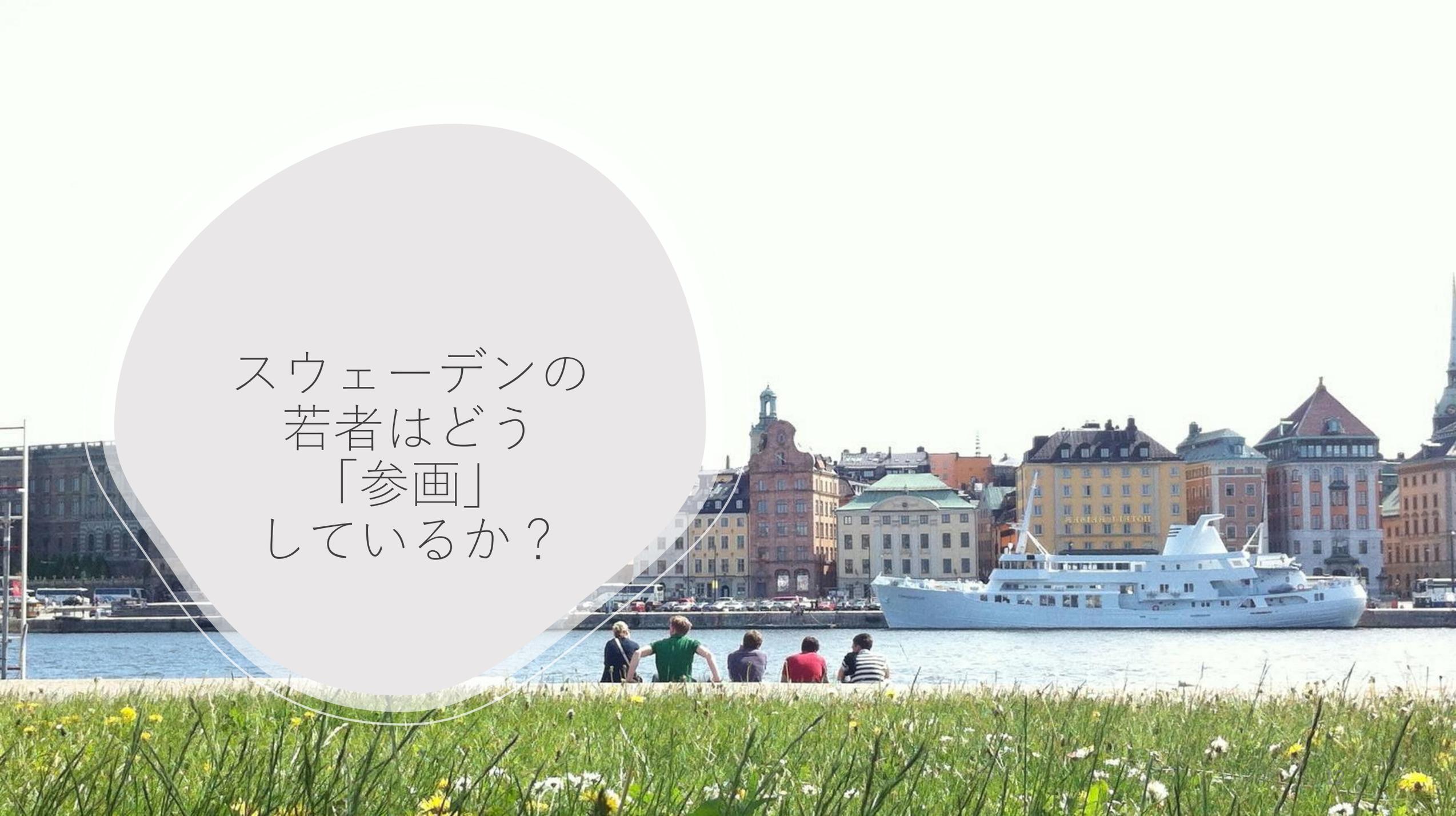
[THE INDEX](#) [ABOUT](#) [FULL REPORT](#) [CONTACT](#)



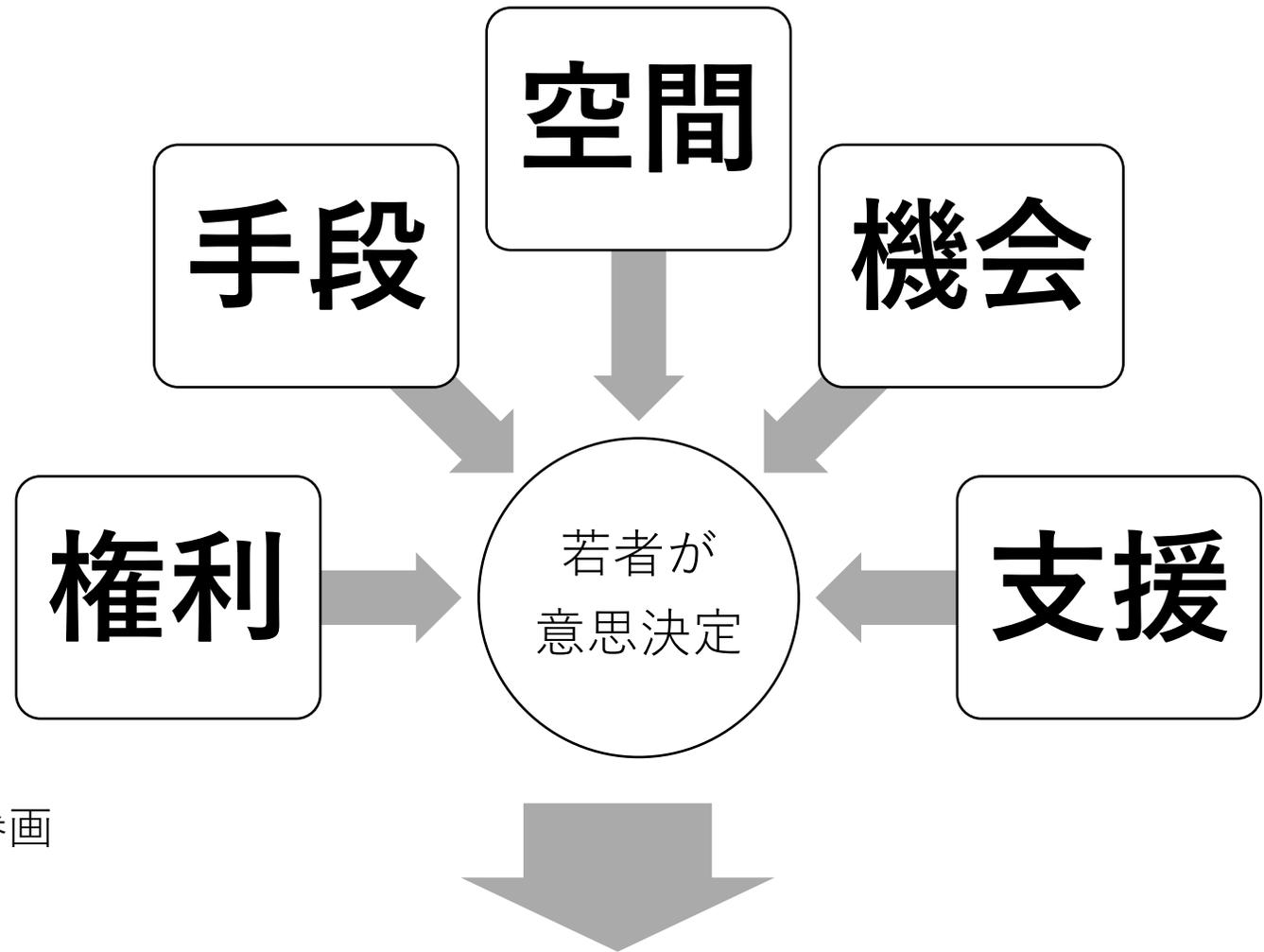
	スウェーデン	日本
総合	1位	7位
ジェンダー	2位	15位
経済	1位	6位
教育	1位	16位
健康	10位	26位
安全	1位	4位
市民参加	3位	12位
ICT	1位	7位

出典：世界若者幸福度調査2017  
[\(http://www.youthindex.org/\)](http://www.youthindex.org/)

スウェーデンの  
若者はどう  
「参画」  
しているか？



# 若者の (社会)参画とは？



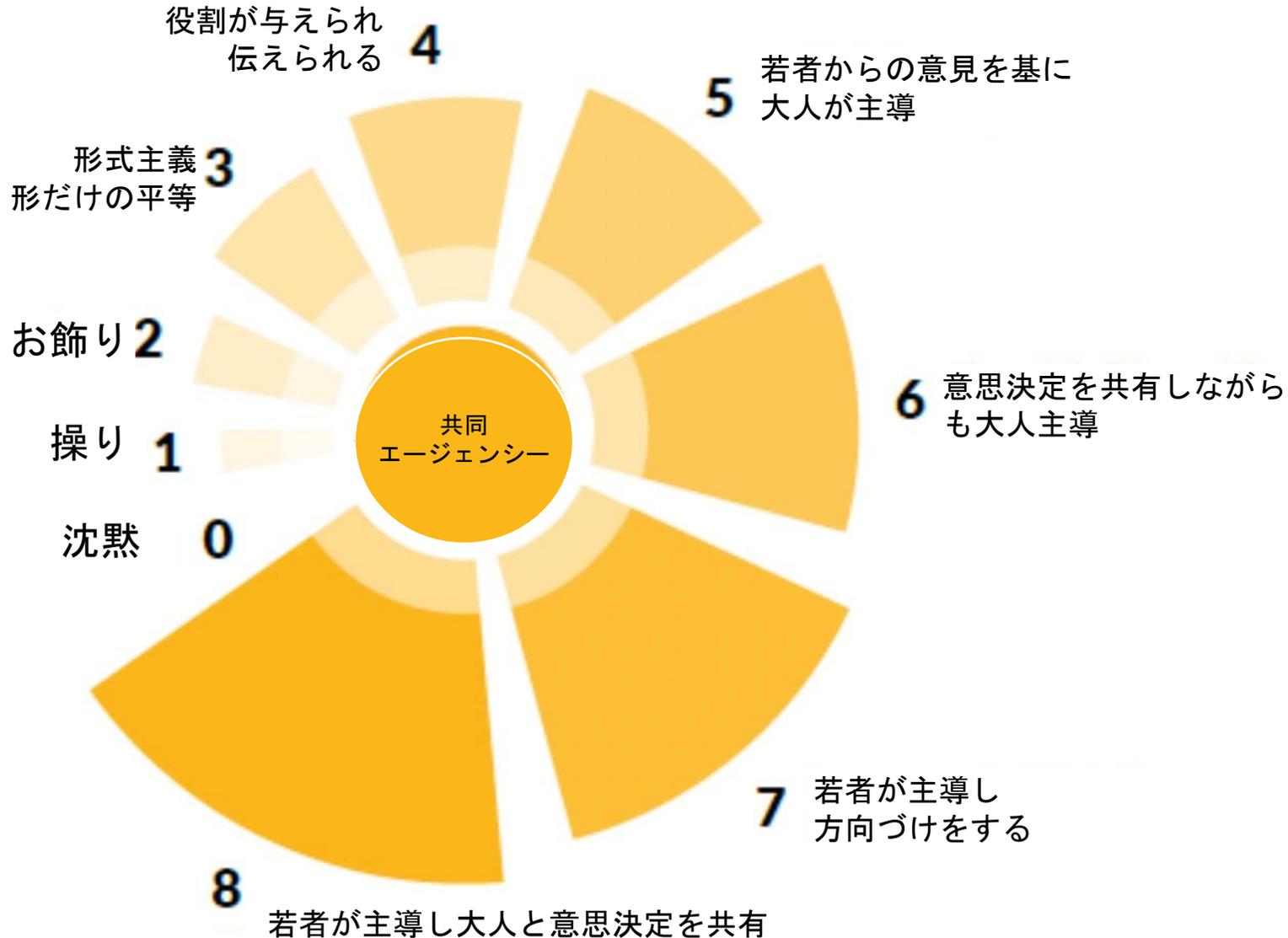
日本：若者の社会参画

ヨーロッパ：Youth Participation = 若者の参画

## 社会へ影響力を発揮

# 太陽モデル

光はみんなで一緒に輝いたとき一番明るくなる



若者の参画を  
発揮していく方法



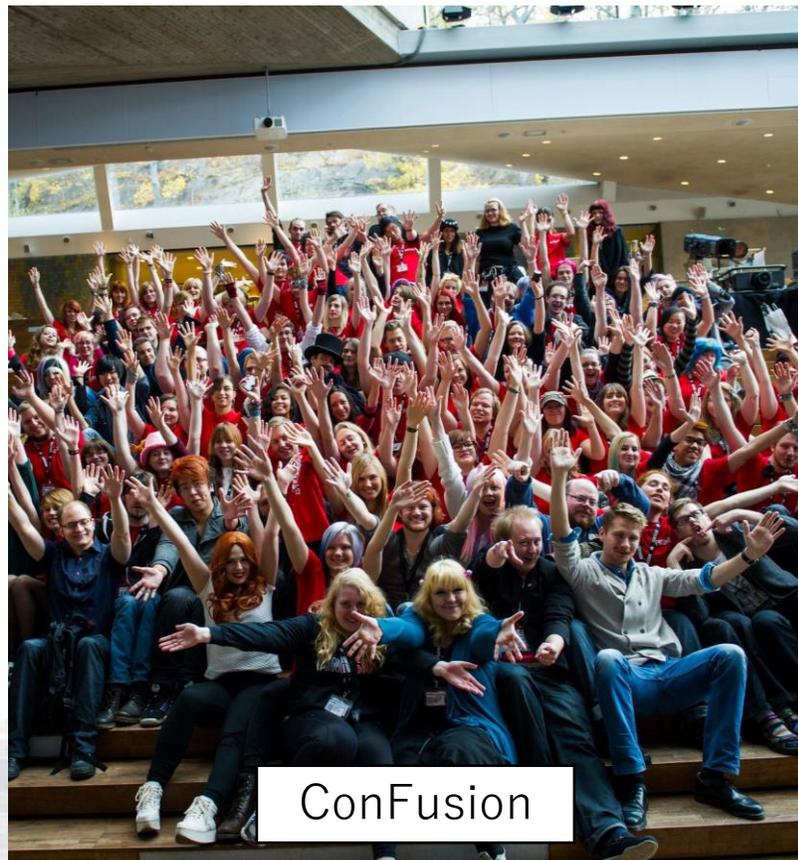
生徒組合



若者協議会  
(ユースカウンシル)



学生自治会



ConFusion



政党青年部

# 社会に影響力を発揮する スウェーデンの若者団体

# 地域に若者の影響をあたえる若者協議会

ヨーテボリ市若者協議会の例



ヨーテボリ市の若者101人(12~17歳)から構成される

## 理念

- 若者が若者協議会、地域の行政、政治家に影響を与えることができる
- 議論される内容を決めるのは若者自身
- 理事会はネットの選挙で選ばれる
  - 大会議を年5回、委員会ごとの会議を毎週
- 政治家、行政への提言・質問・意見具申なども行う
  - 若者の公共交通機関の時間限定の無償利用可 (実現)
  - ウォータースライド祭り
  - 地方選挙における16歳選挙権の導入
  - 毎年350万円の予算 (12万以上の出費は自治体から許可)



# スウェーデンの教育法 「生徒の参画と影響」

- 児童・生徒には、教育に対して影響力が発揮できるようにしなければならない
- 児童・生徒は、教育の改善のために積極的な参画が促進され、彼ら自身にかかわるあらゆる事柄については、常に情報が与えられなければならない
- 生徒は、教育に対しての影響力という文脈において、生徒に関わる事柄を主導できなければならない





給食協議会 (matråd)



クラス会議 (klassråd)



生徒会 (elevråd)

# 学校に影響力を発揮できる場

4年に1度のスウェーデンの国  
政・地方選挙に合わせて実施

生徒会を中心に実施

実際の選挙で使われる投票用紙、  
投票箱を使い、結果も公表

政治家・政党青年部を招いた政  
党ディベート大会も学校で開催



# 学校選挙



# スウェーデンの ユースセンター・ 余暇センターとは



- Måtplats = Meeting Place = 交流・出会いの場  
元々はセツルメントとして20世紀初頭に設立したものが広がる

- 13歳から25歳が対象

施設によって対象年齢は異なる, 対象人口の10%弱の利用

- 全国290の自治体に1500施設

- 全国で3700人の職員

- 職員の形態

余暇リーダー(fritidsledare)

社会教育者

ボランティア、インターン、パート

# スウェーデンのユースセンターで大事にされていること

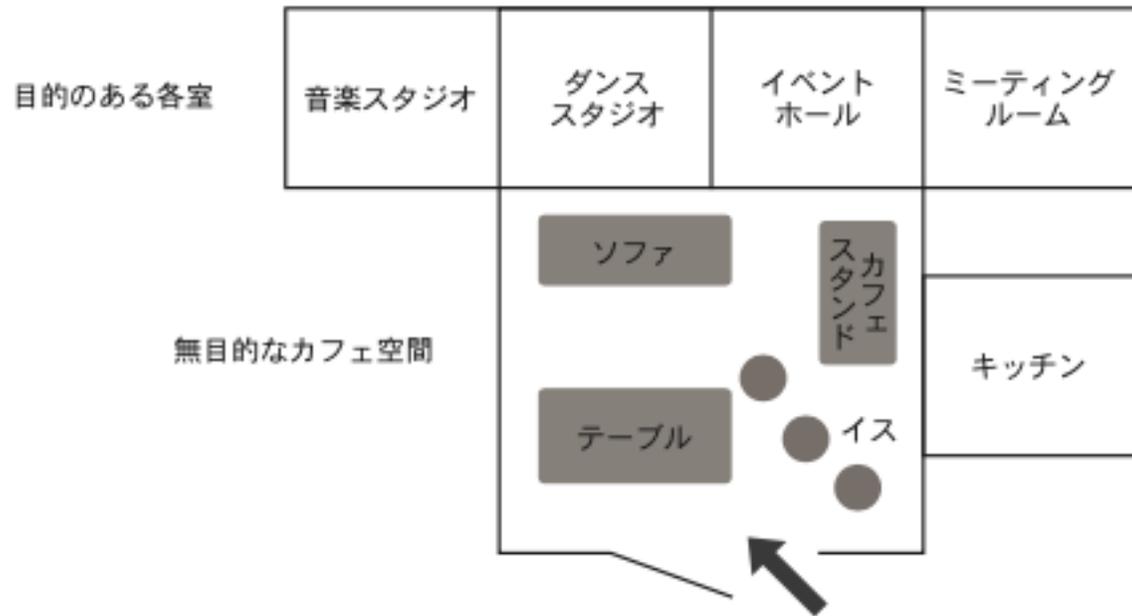


図4-2 フレドリックさんの描いたユースセンターの間取りとOLAの関係。  
各室の前の無目的にただ「いる」ことができる「カフェ空間」こそが  
ユースセンターの心臓であるという。

図2: Fredrik の描いたOLAを説明するためのユースセンターの間取り

## ① 開放性

- 会員証の撤廃、利用料の無償化
- センターの訪問障壁を下げるため

## ② 自由性

- × 招待型の活動
- ○ プロジェクト型
- 個人 > 集団
- 施設運営にも参画

## ③ 無目的性

- 「音楽などの特定の活動をしたい若者の支援よりも、特にしたいことがない若者がくつろいでいられることが重視される」

# ウプサラ 若者による若者のための 若者の家



- 1986年から会館
- 来所者：毎日70人、男女比：1:1、16～18歳
- 若者団体が運営しており、市も大人も運営に関わっていない
- カフェスペース、ボードパーク、音楽スタジオ、ゲーム部屋、工作部屋



Q：あなたにとって民主主義とは何ですか？

自分の声を届かせることができ、影響を与えられることです。

Q：それが大事なのはなぜですか？

社会がずっと良くなっていくためには変化が必要で、変化するためにはいろいろな人がいろいろなことを考えます。中略）多くの人の考え方が反映されほうがいい社会になると思います。



若者の家代表のベンジャミンさん  
(当時19歳)

なぜスウェーデンではこれが可能？



# 若者期を保障する「若者政策」の存在



## 特徴

- 子ども・若者の人権の保障を基盤とする
- 人生の前半期でかかる費用を限りなくゼロへ
- 若者の社会参画の結果としての「影響力」を目標に
- 「若者は社会の問題ではなく社会のリソース(資源)」
- 若者団体への助成金が目玉政策
  - 「金は出しても口出さず！」
  - 約30億円の助成金を106の子ども・若者団体に拠出(2014)
- 若者団体と若者政策を作ること



# 人生前半期でほとんどお金がかからない

## 学校関連

- 授業料・入学料：無償
  - 基礎学校～大学・職業大学
- 大学：スウェーデン人・EU圏内の学生の大学の学費無料
  - →ただしEU圏外の留学生2011年から有料化
- 奨学金（CSN）の支給：4万円/月、返済型 10万円/月
- 給食費：無償（大学以上を除く）
- 教科書：無償（大学は自己負担）
- 社会見学、遠足、行事も学校が負担が原則
- 学用品（ノート、鉛筆）一部支給

## その他

- 児童手当（16歳未満）、学習補助金（16歳）として月に1万5千円支給
- 通学定期の支給
- メガネに補助金
- 医療：18歳未満まで無料
- 歯の治療：20歳未満まで無料
- 避妊具も無料で支給

# スウェーデンの若者政策の変遷

1898 国レベルの子ども・若者政策の誕生

1930~大人の若者への眼差しの転換

1945「どう大人が若者の余暇活動の選択に影響を与えようというのか」

1950 ~ 地域でユースセンター の設置

1965 若者は、問題ではなく社会の「資源」の視点の導入

1981 消費者化する若者と社会への警告

「若者が、商品や物品の、さらには自身の人生の『消費者』になってしまい、結果として自身の人生をも自分で決めることができなくなっている(政府報告書)」

→若者団体への補助金事業の開始

1986 若者政策担当大臣

1990 子どもの権利としての参加の強調

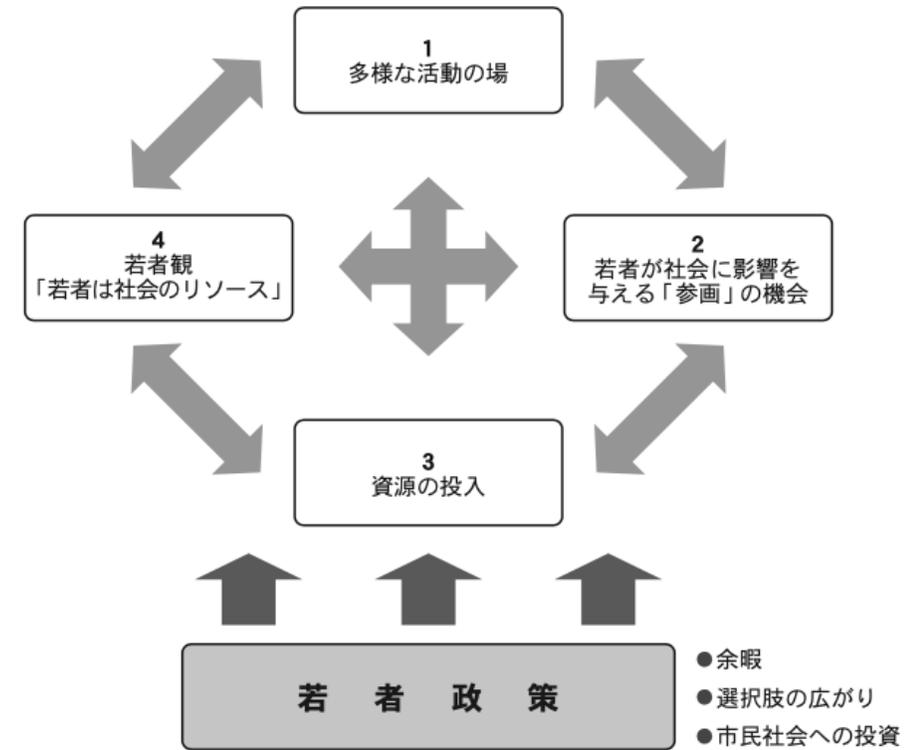
1994 青年事業庁の設立

2004 若者政策法改定

2014 若者・市民社会庁に再編 参加から影響力へ 社会的排除層にある若者の包摂

# なぜスウェーデンでは ユースが活躍するか？

- ユースが活躍している = ユースが社会に**影響力が発揮**できる
- 影響力が発揮できる環境とは？
  1. 多様な活動の場がある
  2. 若者が社会に影響を与える「参画」の機会
  3. 資源(場所・お金・職員・施策)が投入
  4. 若者は社会の問題ではなくリソースである
- それを下支えする「若者政策」の有無  
→ 若者の人生の自己決定(参画)を支える



『若者からはじまる民主主義』より

# トークテーマ

- 1：若者が影響力を持っている社会・地域とは？（理想）
- 2：理想の社会・地域と現実とのギャップは？

またそのギャップを埋めるためには何が必要？

